

事 務 連 絡
令和元年 1 1 月 1 1 日

大学等におけるインターンシップの
届出制度に届出ていただいた
各国公私立大学長
各公私立短期大学長
各国公私立高等専門学校長

文部科学省高等教育局専門教育課長

大学等におけるインターンシップ表彰の申請について（依頼）

今般、平成 29 年度に創設した「大学等におけるインターンシップの届出制度」における取組の中から、学生の能力伸長に寄与するなどの高い教育的効果を発揮しており、他の大学等や企業に普及するのに相応しいモデルとなり得るインターンシップを、グッドプラクティスとして表彰し、その成果を広く普及することを目的として、「大学等におけるインターンシップ表彰」を実施します。

つきましては、添付の実施要項をご確認いただき、別紙 1「大学等におけるインターンシップ表彰 申請書様式」を作成し、申請くださいますようお願いいたします。

ご不明な点等あれば、文部科学省専門教育課インターンシップ推進係までご連絡ください。

【提出・問い合わせ先】

文部科学省高等教育局専門教育課
インターンシップ推進係
(担当：早坂、伊藤)

電 話：03-6734-3345

E-mail：intern@mext.go.jp

大学等におけるインターンシップ表彰に関する実施要項

令和元年11月7日
文部科学省
高等教育局

1. 趣旨・目的

➤ 今般、平成29年度に創設した「大学等におけるインターンシップの届出制度」における取組の中から、学生の能力伸長に寄与するなどの高い教育的効果を発揮しており、他の大学等や企業に普及するのに相応しいモデルとなり得るインターンシップを、グッドプラクティスとして表彰し、その成果を広く普及することを目的として、文部科学大臣による「大学等におけるインターンシップ表彰」を実施する。

- キャリア教育・職業教育や専門教育を強化していく上で、産学協働で人材育成に取り組むことは重要であり、その中でもインターンシップは効果的な教育手法と考えられている。
- 我が国におけるインターンシップは徐々に拡大してきたところだが、一方で、国際的に見ても、大学等において単位認定を行うインターンシップへの学生参加率が低いなど量的な拡大が課題となっており、同時に、大学等のインターンシップに対する関与が十分でなく、事前・事後学習が実施されず教育的効果が十分でないなど、質的な充実についても課題が挙げられている。
- そうした背景の中、平成29年6月に取りまとめられた「インターンシップの更なる充実に向けて 議論の取りまとめ」（インターンシップの推進等に関する調査研究協力者会議）では、インターンシップの量的拡大・質的充実に向けた具体的な推進方策の一つとして、届出・表彰制度の導入が盛り込まれた。
- これを受け、「正規の教育課程としてのインターンシップ」に必要な要素を満たしたインターンシップについて、大学等から任意で届出を受け付け、その内容を公表する届出制度を平成30年2月に創設したところである。

- 今般、この届出制度におけるプログラムの中から、学生の能力伸長に寄与するなどの高い教育的効果を発揮しており、他の大学等や企業に普及するのに相応しいモデルとなり得るインターンシップを、グッドプラクティスとして表彰し、その成果を広く普及することを目的として、「大学等におけるインターンシップ表彰」を実施する。

2. 大学等におけるインターンシップ表彰の概要

大学等におけるインターンシップ表彰は、以下に従い実施する。

① 申請期間

令和元年11月12日（火）～ 11月29日（金）17時必着

② 申請対象・資格

- 申請者は、「平成30年度大学等におけるインターンシップの届出制度（受付期間：平成30年12月6日～平成31年3月5日）」において届出を行った取組を実施している大学・短期大学・高等専門学校（大学等）であること。
- 選考の対象となるインターンシップは、「平成30年度大学等におけるインターンシップの届出制度」において届出を行った取組（平成29年度実績）の直近の取組（平成30年度実績）とし、令和元年10月現在も当該取組を実施しており、かつ、来年度以降も継続的に実施予定であること。
- 取組内容が公表可能であること。（協働する企業等からも了承を得ていること。）
- 申請件数は、各大学等につき1件までとし、申請に当たっては機関の長まで承諾を得ていることを必須とする。ただし、数理・データサイエンス・AI分野におけるインターンシップを含む場合には、各大学等につき2件まで申請できるものとする（※1）。

※1 「AI戦略2019～人・産業・地域・政府全てにAI～」(令和元年6月11日統合イノベーション戦略推進会議決定)において、「数理・データサイエンス・AI分野を含めた、教育効果の高い大学・高専におけるインターンシップを表彰、グッドプラクティスの普及促進」とされていることから、この分野のインターンシップについて新たに「特

別賞」を設けることとしたため申請を受付けるもの。

なお、「数理・データサイエンス・AI分野におけるインターンシップ」とは、「なぜ数理・データサイエンス・AIを学ぶのか」、「社会でどのように活用されているのか」など学修の動機付けがされ、産学協働で人材育成に取り組むインターンシップを指す（※2）。例えば、以下のようなインターンシップが該当する。

- ・ AIを用いて物流の最適化を行う企業に、AIを用いた経営管理方法を学ぶためのインターンシップ（AIの数理的な素養を直接必要としないケースを含む。）
- ・ AIを用いて効果的な広告手段の開発を行う企業に、業務を通じてAIの特徴、得意なこと、苦手なことを実際に学ぶインターンシップ（AIの数理的な素養を直接必要としないケースを含む。）
- ・ データサイエンスを用いて購買の販路開拓について分析・提案する企業において、実データをもとにICTスキル及び統計数理的な方法を用いて分析を実践するインターンシップ
- ・ AIやサイバーセキュリティ、クラウド等のシステム開発を行う企業に、ICTアプリケーション開発を学ぶためのインターンシップ

※2 数理・データサイエンス・AI分野におけるインターンシップについて、例えばAI関連機器の操作練習にとどまる場合や、AI関連企業であるがインターンシップの内容がAIに関連しない場合等、AI分野における学修を伴わない場合はこれに含まれませんのでご注意ください。

③ 申請方法について

- 別紙1「大学等におけるインターンシップ表彰 申請書様式」を電子メールにより提出（提出先：intern@mext.go.jp）。

④ 選考方法

- 「大学等におけるインターンシップ表彰選考委員会」により、別紙2に定める選考基準により、評価・選考を行う。
- 選考は、非公開で行う。

⑤ 賞の構成（予定）

各大学等から申請のあった全てのインターンシップ（各校最大2件）を対象に選考委員会による選考を行い、最優秀賞（1件）の他、優秀賞（数件）及び特別賞（1件）を決定する。なお、特別賞の対象は数理・データサイエンス・AI分野におけるインターンシップに限る。

⑥ スケジュール（予定）

令和元年 11月 12日 申請開始

令和元年 11月 29日 申請〆切

令和元年 12月 審査

（面接審査含む ※面接審査の詳細については別途連絡）

令和2年 1月 最優秀賞及び優秀賞決定

令和2年 2月～3月 表彰式・フォーラム開催

<添付資料>

【別紙1】大学等におけるインターンシップ表彰 申請書様式

【別紙2】大学等におけるインターンシップ表彰選考基準

【別紙3】（参考）大学等におけるインターンシップの届出制度について

【本件担当】

文部科学省高等教育局専門教育課

インターンシップ推進係 早坂、伊藤

電話：03-5253-4111（内線：3345、2935）

Email：intern@mext.go.jp

大学等におけるインターンシップ表彰 申請書様式

別紙1

大学等名

学長・校長名

- 以下の各項目について、平成30年度実績に基づき、御記入ください。
- できるだけ簡潔かつ定量的に御記入ください。
- 本申請書の他に取組の全体像や概要が分かる資料(ポンチ絵等)を添付してください。(最大3枚)
※不明確な点や、より詳細に把握したい点等について、追加で資料等を求める場合がありますので、予めご了承ください。

項目	内容			
基本情報	科目名			必修・選択・選択必修
	受講対象学部等	受講対象学部所在地		
	受講対象学年	受講者数		
	インターンシップ実施日数	インターンシップの分類	数理・データサイエンス・AI	
	実習先企業等名			
	大学等としてのインターンシップの責任部署・責任者名			
	中心的な役割を果たしている教職員名・役職			

<p>当該インターンシップのねらいや意義、特徴</p>	<p>(左記のことについて、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p>
<p>当該インターンシップを実施するまでの経緯等</p>	<p>(左記のことについて、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p>

<p>「就業体験を伴うこと」について</p>	<p>(以下の評価基準を踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の実際を知ることや就業観の育成に資する就業体験が行われているか。
<p>「正規の教育課程の中に位置付けられていること」について</p>	<p>(以下の評価の観点を踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの教育的効果を高め、学生が、大学等における教育内容をより深く理解できる工夫がなされているか。
<p>「大学等の組織的な取組として位置づけられていること」について</p>	<p>(以下の評価の観点を踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップが適切かつ継続的に実施できる体制が整えられているか。
<p>「インターンシップ実施後の教育的効果を把握する仕組みが取られていること」について</p>	<p>(以下の評価の観点を踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みが取り入れられているか。
<p>「5日間以上のインターンシップの実施期間が確保されていること」について</p>	<p>(以下の評価の観点を踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの教育的目的や教育課程全体との関係、企業等との関係を十分考慮した上で適切な実施期間が設定されているか。
<p>「大学等と企業等が協働した取組となっていること」について</p>	<p>(以下の評価の観点を踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの様々な場面において、企業との積極的な協働があるか。

<p>「数理・データサイエンス・AI分野の取組」について</p>	<p>(「基本情報」において「数理・データサイエンス・AI分野」に該当する取組と回答した場合、その内容をMSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p>
<p>その他のアピールポイントについて</p>	<p>(左記のことについて、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p>

事務担当者名:		所属部署:	
連絡先:	(電話番号)		
	(E-mail)		

大学等におけるインターンシップ表彰 申請書様式(記入要領)

別紙1

大学等名

学長・校長名

高等専門学校は学校名を記載してください。

- 以下の各項目について、平成30年度実績に基づき、御記入ください。
- できるだけ簡潔かつ定量的に御記入ください。
- 本申請書の他に取組の全体像や概要が分かる資料(ポンチ絵等)を添付してください。(最大3枚)
※不明確な点や、より詳細に把握したい点等について、追加で資料等を求める場合がありますので、予めご了承ください。

項目	内容	
基本情報	科目名	必修・選択・選択必修
	○○○○○○○○	左記科目について、該当するものをリストから選択してください。 選択
	受講対象学部等	受講対象学部所在地
	○○学部	○○県○○市 該当する場合にはリストから○を選択してください。
	受講対象学年	受講者数
	○年生	○○名
	インターンシップ実施日数	インターンシップの分類
		①②③⑤⑦ 数理・データサイエンス・AI
	実習先企業等名	
	○○○○、○○○○、○○○○、○○○○	
大学等としてのインターンシップの責任部署・責任者	以下のものから、該当するものを番号で記載してください。(複数選択可)	
○○○○センター	① 長期(概ね1か月以上)インターンシップ	
中心的な役割を果たしている教職員名・役職	② 有給インターンシップ	
○○○○、○○○○、○○○○、○○○○	③ 海外インターンシップ	
	④ 他県をまたぐ広域インターンシップ	
	⑤ 低学年(学部学生1年次~2年次程度)からのインターンシップ	
	⑥ 大学院生を対象とした研究インターンシップ	
	⑦ 大企業・グローバル企業でのインターンシップ	
	⑧ 中小企業でのインターンシップ	
当該インターンシップのねらいや意義、特徴	(左記のことについて、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。) 大学等の強み・特色を踏まえ、当該インターンシップのねらいや意義、特徴等について記載してください。	
当該インターンシップを実施するまでの経緯等	(左記のことについて、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。) カリキュラムの構築に当たったの工夫や、学内・連携企業等との調整も含め、当該インターンシップを実施するまでの課題とその対応等について記載してください。	

<p>「就業体験を伴うこと」について</p>	<p>(以下の評価基準を踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の実際を知ることや就業観の育成に資する就業体験が行われているか。 <p>インターンシップの教育目的や育成する人材像が明確になっているか、インターンシップの教育目的や育成する人材像に応じた就業体験となっているか、海外インターンシップや地域でのインターンシップなど、取組の特性に応じた内容や規模になっているかといったことについて、具体的な実施内容やそのためにどのような工夫をしているか等を記載してください。</p>
<p>「正規の教育課程の中に位置付けられていること」について</p>	<p>(以下の評価の観点の踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの教育的効果を高め、学生が、大学等における教育内容をより深く理解できる工夫がなされているか。 <p>インターンシップの教育目的や育成する人材像に応じて、単にマナー研修等だけではなく事前・事後学習・モニタリング等が実施されているか、インターンシップの教育目的や育成する人材像を学生が理解しているかといったことについて、具体的な実施内容やそのためにどのような工夫をしているか等を記載してください。</p>
<p>「大学等の組織的な取組として位置づけられていること」について</p>	<p>(以下の評価の観点の踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップが適切かつ継続的に実施できる体制が整えられているか。 <p>インターンシップの企画・立案・実施・評価について、大学等として組織的に取り組んでいるか、インターンシップに係るプログラム構築や学生との関係、学内での調整、企業との協働を専門的に担う人材が配置されているか、その上で教職員が必要に応じてそれぞれ役割を分担するなど、チームとしての体制が作られているか、上記に係るSD・FD研修が行われているかといったことについて、具体的な実施内容やそのためにどのような工夫をしているか等を記載してください。</p>
<p>「インターンシップ実施後の教育的効果を把握する仕組みが取られていること」について</p>	<p>(以下の評価の観点の踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みが取り入れられているか。 <p>インターンシップ前後で、学生が何を身に付け、どう変わったかを可能な限り定量的に把握あるいは評価しているか、それらを学生の今後の成長や学修の深化、学習意欲の増、将来のキャリア選択等につなげることができているかといったことについて、具体的な実施内容やそのためにどのような工夫をしているか等を記載してください。</p>
<p>「5日間以上のインターンシップの実施期間が確保されていること」について</p>	<p>(以下の評価の観点の踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの教育的目的や教育課程全体との関係、企業等との関係を十分考慮した上で適切な実施期間が設定されているか。 <p>インターンシップの教育目的や育成する人材像に応じて適切なインターンシップの実施期間が設けられているか、なるべく長期のまとまった期間が確保されているかといったことについて、具体的な実施内容やそのためにどのような工夫をしているか等を記載してください。</p>
<p>「大学等と企業等が協働した取組となっていること」について</p>	<p>(以下の評価の観点の踏まえ、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの様々な場面において、企業との積極的な協働があるか。 <p>インターンシップの教育目的や育成する人材像、学生の希望等が企業と共有されているか、その上で、インターンシップの企画・立案・運営・評価等に企業等の参画があるか、学生の受け入れに伴う企業の負担軽減等に対する配慮や取組がなされているかといったことについて、具体的な実施内容やそのためにどのような工夫をしているか等を記載してください。</p>

<p>「数理・データサイエンス・AI分野の取組」について</p>	<p>(「基本情報」において「数理・データサイエンス・AI分野」に該当する取組と回答した場合、その内容をMSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <p>「なぜ数理・データサイエンス・AIを学ぶのか」、「社会でどのように活用されているのか」など学修の動機付けがされ、プログラムの構築やインターンシップの内容における「数理・データサイエンス・AI」分野に係る取組について、具体的な実施内容や工夫点を記載してください。</p>
<p>その他のアピールポイントについて</p>	<p>(左記のことについて、MSゴシック・11ポイント・400字程度で記載してください。)</p> <p>当該インターンシップのアピールポイントとして、上記の他特筆すべきこと(大学改革や学生、あるいは当該地域に与えた影響等)について記載してください。</p>

<p>事務担当者名:</p>		<p>所属部署:</p>	
<p>連絡先:</p>	<p>(電話番号)</p>		
<p>連絡先:</p>	<p>(E-mail)</p>		

大学等におけるインターンシップ表彰選考基準

別紙2

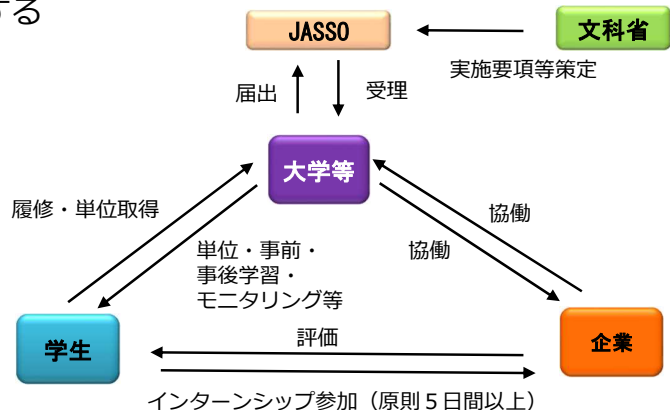
○大学等におけるインターンシップ表彰選考基準

- ・大学等におけるインターンシップ表彰の選考に当たり、以下の観点により評価を行う。
- ・評価は「◎」(特に優れている)、「○」(優れている)、「△」(より改善の余地がある)

基準	項目
①就業体験を伴うこと	
仕事の実際を知ることや就業観の育成に資する就業体験が行われているか。	インターンシップの教育目的や育成する人材像が明確になっているか。
	インターンシップの教育目的や育成する人材像に応じた就業体験となっているか。
	グローバル企業や地場企業、海外インターンシップや地域でのインターンシップなど、取組の特性に応じた内容や規模になっているか。
②正規の教育課程の中に位置付けられていること	
インターンシップの教育的効果を高め、学生が、大学等における教育内容をより深く理解できる工夫がなされているか。	インターンシップの教育目的や育成する人材像に応じて、単にマナー研修等だけではなく事前・事後学習・モニタリング等が実施されているか。
	インターンシップの教育目的や育成する人材像を学生が理解しているか。(シラバス等により理解を促す取組を実施しているか。)
③大学等の組織的な取組として位置づけられていること	
インターンシップが適切かつ継続的に実施できる体制が整えられているか。	インターンシップの企画・立案・実施・評価について、大学等として組織的に取り組んでいるか。(特定の教員等による閉じた取組となっていないか。)
	インターンシップに係るプログラム構築や学生との関係、学内での調整、企業との協働を専門的に担う人材が配置されているか。その上で、教職員が必要に応じてそれぞれ役割を分担するなど、チームとしての体制が作られているか。
	上記に係るSD・FD研修が行われているか。
④インターンシップ実施後の教育的効果を把握する仕組みが取られていること	
インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みが取り入れられているか。	インターンシップ前後で、学生が何を身に付け、どう変わったかを可能な限り定量的に把握あるいは評価しているか。
	それらを学生の今後の成長や学修の深化、学習意欲の増、将来のキャリア選択等につなげることができているか。
⑤5日間以上のインターンシップの実施期間が確保されていること	
インターンシップの教育的目的や教育課程全体との関係、企業等との関係を十分考慮した上で適切な実施期間が設定されているか。	インターンシップの教育目的や育成する人材像に応じて適切なインターンシップの実施期間が設けられているか。
	なるべく長期のまとまった期間が確保されているか。
⑥大学等と企業等が協働した取組となっていること	
インターンシップの様々な場面において、企業との積極的な協働があるか。	インターンシップの教育目的や育成する人材像、学生の希望等が企業と共有されているか。
	その上で、インターンシップの企画・立案・運営・評価等に企業等の参画があるか。
	学生の受け入れに伴う企業の負担軽減等に対する配慮や取組がなされているか。

目的

- インターンシップの教育的効果をより高めるためには、「**正規の教育課程としてのインターンシップ**」に必要な要素に挙げる内容を大学等が実践することが重要
- 当該要素を満たしたインターンシップについては、**大学等から任意で届出**を受け付け、その内容を公表する



「正規の教育課程としてのインターンシップ」に必要な要素

- ① **就業体験**を伴うものであること
- ② 大学等において、**正規の教育課程の中に明確に位置付け**られた授業科目であること (大学設置基準等に基づく単位認定がなされていること)
- ③ 実習の事前に学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせを行うことや、実習期間中にモニタリングを行うこと、事後に振り返りを行うことなどを含めて**適切な学生指導の時間**が設けられていること
- ④ 実施後の**教育的効果を測定する仕組み**が整備されていること
- ⑤ 原則として**実習期間が5日間以上**のプログラムであること
- ⑥ **大学等と企業が協働**して行う取組であること

➤ 公表することにより、大学等や企業とともに教育的効果の高いインターンシップを実施していることを**社会に向けて広く発信・アピール**することができる

➤ 加えて、現在、正規の教育課程としてのインターンシップの実施が進んでいない**大学等や企業に対する波及効果も期待**

インターンシップの裾野を広げる

本届出制度により公表されたインターンシップの中から、学生の能力伸長に寄与するなどの高い教育的効果を発揮しており、他の大学等や企業に普及するのに相応しいモデルとなり得るものを、**グッドプラクティスとして表彰する制度を創設**

大学等におけるインターンシップの届出制度 (詳細)

申請期間：平成30年12月～平成31年3月

令和元年5月7日現在

学校種	申請学校数			届出科目数		
	H30	H29	増▲減	H30	H29	増▲減
国立大学	37	27	10	97	67	30
公立大学	11	8	3	14	12	2
私立大学	116	107	9	219	185	34
公立短期大学	0	1	▲1	0	1	▲1
私立短期大学	12	11	1	13	19	▲6
国立高専	13	8	5	26	17	9
公立高専	1	1	0	1	1	0
私立高専	0	0	0	0	0	0
合計	190	163	27	370	302	68

(参考)

(上記370科目のうち、理工系は109科目)

詳細は以下のとおり

- ✓長期:105科目 (17科目 増)、✓有給:41科目 (18科目 増)、✓海外:89科目 (29科目 増)、
- ✓広域:139科目 (11科目 増)、✓地域:230科目 (17科目 増)、✓低学年:157科目 (13科目 増)、
- ✓大企業等:187科目 (31科目 増)、✓中小企業:259科目 (28科目 増) (以上のべ数)